ようこそ！ SWCC仙台事業所へ。

仙台事業所が、地球環境のためにしていること。

仙台事業所が、地域社会のためにしていること。

仙台事業所の概要

所在地	宮城県柴田郡柴田町 大字船岡字鍋倉1番地 〒989-1606 TEL (0224)52-6111(代)
工場敷地面積	約496,000㎡
従業員数	約320名
関連会社	SWCC株式会社 冨士電線株式会社 株式会社ロジス・ワークス

仙台事業所の製品

電力ケーブル
ACSR（鋼心アルミ撚線）、銅配電線

通信ケーブル
光ファイバケーブル（テープスロット型・スロットレス型・層型）、ドロップ光ケーブル、光周辺機器、コネクタ、CCPケーブル、海底・水底通信ケーブル、漏洩同軸ケーブル（LCX・SLCX）

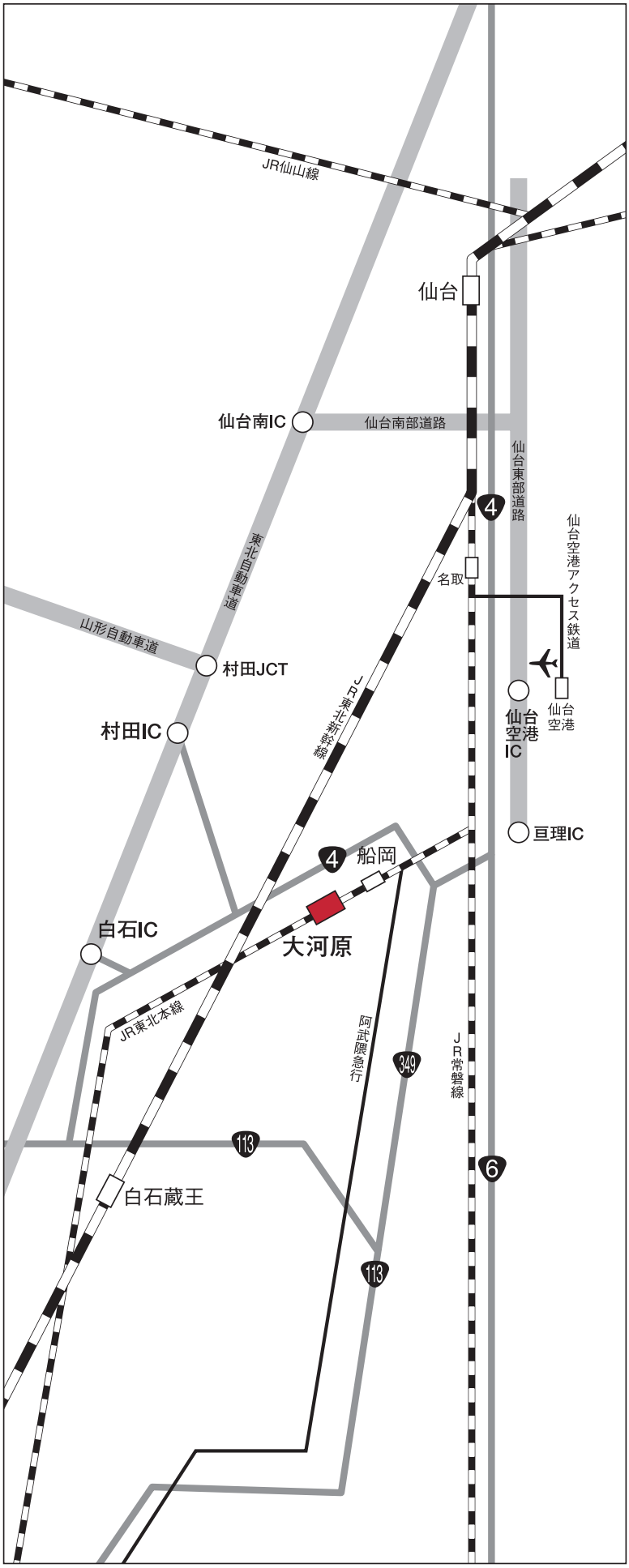
裸線
電気用軟銅線、電気用硬銅線、銅より線、銅銀合金線

仙台事業所の歴史

1970年	宮城県開発株式会社より土地購入
1972年	アルミ電線製造開始
1973年	メタル通信ケーブル製造開始
1982年	漏洩同軸ケーブル製造開始
1991年	同軸ケーブル製造開始
1992年	光ファイバケーブル製造開始 銅伸線・より線製造開始
1995年	ISO 9001認定取得
1998年	ISO 14001認定取得 宮崎電線工業㈱ アルミパイプ同軸ケーブル、光ファイバケーブル製造工場新設
1999年	昭和線材加工㈱仙台作業所 ㈱昭和リサイクルに社名変更
2001年	スロットレス光ケーブル製造開始
2002年	銅銀合金線製造開始 ドロップ光ケーブル製造開始 三菱電線工業㈱と電力用電線事業の 共同事業会社設立 アルミ電線製造部門 ㈱エクシムに移管
2006年	持株会社体制化により分社 「昭和電線電纜㈱」 →「昭和電線ケーブルシステム㈱」 「昭和電線ビジネスソリューション㈱」
2010年	宮崎電線工業㈱ 生産拠点の集約により 会津製造ラインを仙台工場に統合
2011年	相模原事業所の光端末加工部門を 仙台事業所の通信部門に統合
2012年	㈱エクシム アルミ電線製造部門を 昭和電線ケーブルシステム㈱に移管
2013年	宮崎電線工業㈱解散
2015年	㈱エクシムを昭和電線ケーブルシステム㈱に統合
2017年	昭和電線ビジネスソリューション㈱を 昭和電線ケーブルシステム㈱に統合
2022年	メタル通信ケーブル製造事業を 冨士電線㈱仙台工場に移管
2023年	昭和電線ケーブルシステム㈱をSWCC㈱に統合

Copyright (c) SWCC Corporation. All Rights Reserved.

地図・交通アクセス



宮城県柴田郡柴田町大字船岡字鍋倉１番地

車でお越しの方は

◎東北自動車道村田ICより南東へ約8km
◎東北自動車道白石ICより北東へ約10km

電車でお越しの方は

☆仙台駅より
　JR東北本線で大河原駅まで約35分
☆福島駅より
　JR東北本線で大河原駅まで約60分
◎JR東北本線大河原駅よりタクシーで約7分
◎JR東北本線大河原駅より東へ徒歩約20分

飛行機でお越しの方は

◎仙台空港よりタクシーで約40分
◎仙台アクセス鉄道仙台空港駅より
　名取駅まで10分
　名取駅よりJR東北本線で大河原駅まで20分

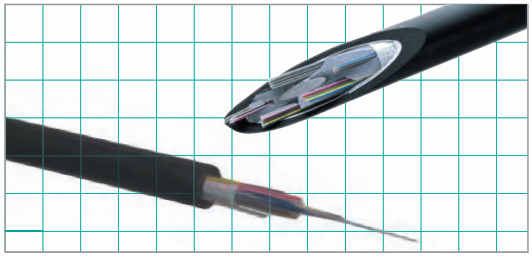
CAT. NO. 00-23-19 24.10 K

Copyright (c) SWCC Corporation. All Rights Reserved.

こんな製品作ってます。

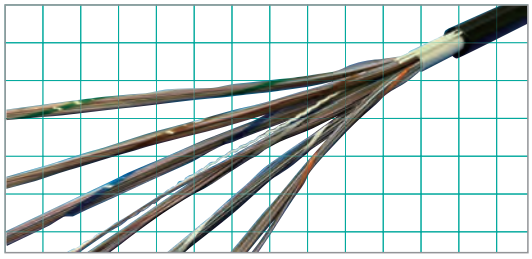
大容量・高速通信の担い手
光ファイバケーブル（架空・ドロップケーブル）

情報通信の基幹となる長距離通信、大容量通信に加え、
高速信号を家庭まで届ける、
光ファイバケーブルを製造しています。



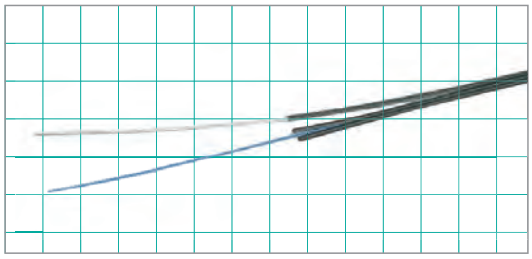
＞光ファイバケーブル（テープスロット型／スロットレス型）

複数の光ファイバを一列に並べてテープ状にし、それを積み重ねて集合し、ケーブルとした製品です。テープスロット型を軽量化したスロットレス型があり、光通信の伝送媒体として、主に地下管路内や架空用に使用されています。



＞光ファイバケーブル（e-Ribbon®／ローラブルケーブル）

複数の光ファイバを一列に並べて間欠的に融着することで、テープがより柔らかくなり、ケーブルとして更に細径化できます。e-Ribbon® は間欠テープの当社登録商標です。



＞ドロップ光ケーブル

電柱からの個人宅、マンションへの引込み等に使用するケーブルです。細径・軽量な構造で、支持線部とケーブル部の分離、心線の取り出しが容易なケーブルです。近年は、クマゼミ被害低減を目的とした、セミ対策品の製造が中心になっております。

このような場所で使われています →

電信柱

情報通信ネットワーク

＞担当者のひとこと

インターネットをはじめとする情報通信分野は、時代の変遷とともにデータ通信の大容量・高速化を続けており、データセンターから各ご家庭まで、その伝送媒体である光ファイバケーブルも変化しています。
私たちは情報通信の中核を担う者として、光ファイバケーブルを四半世紀にわたり提供し続けて来ました。
培った製造着経験を生かし、これからの四半世紀も、皆様に安心して頂ける製品を提供していきたいと思います。

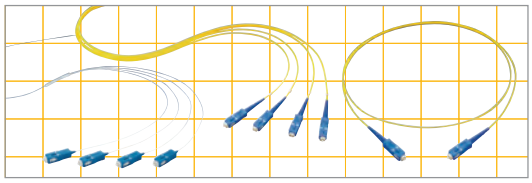
SWCC株式会社
通信・産業用デバイス事業セグメント 通信ケーブル部 製造課 製造G グループ長　宮下 龍成

Copyright (c) SWCC Corporation. All Rights Reserved.

こんな製品作ってます。

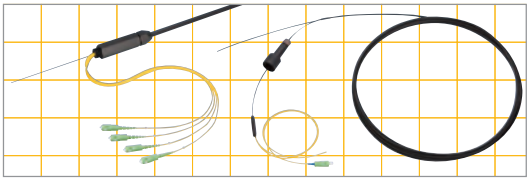
様々な場面で活躍する
光デバイス・光ファイバケーブル（テープスロット型、コード集合型）

高度な加工・研磨技術を活かして、光ファイバ技術を
周辺機器へと応用。工業・医療・分析・通信など
各分野に広く活躍している製品です。



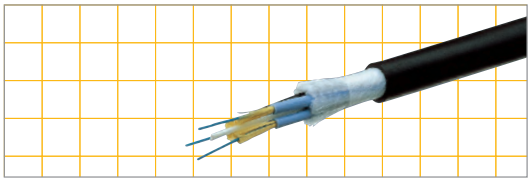
＞コネクタ付光ファイバコード類

コードの両端、または片端に光コネクタを取付け、機器内配線、ジャンパコードあるいはケーブルの成端接続用に使用することができます。
各種コネクタアッセンブリが可能です。



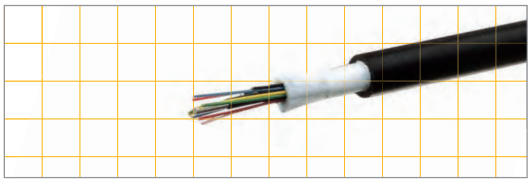
＞コネクタ付光ファイバケーブル（ノードケーブル他）

テープスロット型光ケーブル、ドロップケーブルを使用したコネクタ付ノードケーブル、コード変換成端ケーブルの製作が可能です。



＞光ファイバケーブル（コード集合型）

複数の光ファイバコードをテンションメンバの同心円状に集合した光ケーブルです。
コネクタ付けすることで融着接続工事を行わずプレハブ配線が可能となります。



＞光ファイバケーブル（層型）

複数の光ファイバをテンションメンバに同心円状に集合したケーブルです。

このような
場所で
使われて
います →

電信柱

ヘッドエンド・サーバールーム

＞担当者のひとこと

光ケーブル製造業者として、私たちは最先端の技術と高品質な材料を駆使し、信頼性の高い光ファイバーケーブル、コネクタ付光コード・ケーブル製品を製造しています。
これら製品により、高速データ通信やインターネット接続の基盤を支える重要な役割を果たしています。
お客様の多様なニーズに応じ、常に最適なソリューションを提供することを目指しています。
私たちの光ケーブルは、通信インフラの未来を支える一翼を担っています。

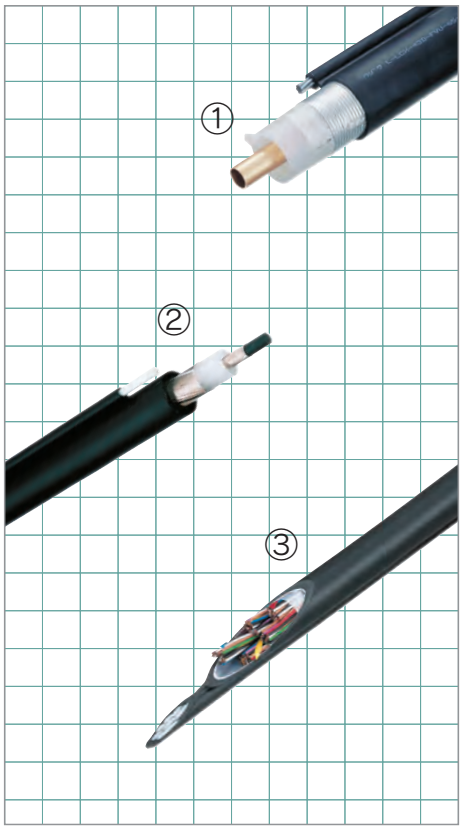
SWCC株式会社
通信・産業用デバイス事業セグメント ケーブル部 製造課 工程設計G グループ長　鴨狩 之裕

Copyright (c) SWCC Corporation. All Rights Reserved.

こんな製品作ってます。

情報伝達に活躍する
メタル通信ケーブル

長距離、大容量通信用、トンネル内等の移動体通信用、
道路交通情報用、ＣＡＴＶ用ケーブルなど、
さまざまなメタル通信ケーブルを製造しています。



①漏洩同軸ケーブル（ＬＣＸ）
電気信号を伝送すると同時に、ケーブルから電波を放射する特殊な構造の同軸ケーブルで、主に、道路のトンネルや鉄道沿いに布設され、ＦＭラジオ放送、消防・警察用の特殊無線システムに使用されております。

②らせん漏洩同軸ケーブル（ＳＬＣＸ）
電気信号を伝送すると同時に、ケーブルから電波を放射する特殊な構造の同軸ケーブルで、ＡＭラジオを通した道路情報を提供するシステムに使用されております。

③市内ＣＣＰケーブル
銅線に色識別を施し、複数本を集合した電気通信用ケーブルで、主に、市内の配線用として地下管路、電柱に布設し使用されております。

このような
場所で
使われて
います →

トンネル内のFMラジオ放送、
消防・警察無線の通信

ハイウェイラジオ
1620kHz

CATV放送網

＞担当者のひとこと

トンネル火災時の無線や平常時の交通情報の提供など、敷設したケーブルに沿って長い範囲に電波を放射するという、特殊なアンテナともいえる漏洩同軸ケーブルとその関連製品を提供しています。これらはいわば安全と安心のための情報通信を担う製品ですので、私たちも高い技術と品質を以ってこの目的と製品を実現できるよう、努力しています。

SWCC株式会社
通信・産業用デバイス事業セグメント 通信ケーブル部 製造課 製造Ｇ グループ長　宮下 龍成

Copyright (c) SWCC Corporation. All Rights Reserved.

こんな製品作ってます。

ケーブルの元材を作る 裸線
高性能な特長を備えた 銅合金線

各種電線の元となる銅及び銅合金の供給を
お客様のニーズに合わせた形で供給しています。

＞裸線及び銅合金線

街でも我が家でも見かけることが出来る多種多様な電線。その元となる材料を伸線し、単線・より線という形態で供給することを基本とし、さらにはお客様のニーズに応える強度・導電性能共に優れた各種合金線についても車載ヒーター線線や医療関連機器に使用されています。

●銅銀合金線

銅銀合金線は他の銅合金よりはるかに強度があり、ステンレスとほぼ同等です。導電率ではベリリウム銅の３倍以上あり、高強度・高導電率が両立する理想的な線材です。

このような
場所で
使われて
います →

通信線の導体部分

電力線の導体部分

＞担当者のひとこと

裸線とはいろんなケーブルになる原点みたいなもので、ここの生産量の９割以上をSWCCグループ会社に納めています。また、高性能な銅合金線の製造にも力を入れており、車載ヒーター線や医療関連機器に納めています。さらに合金技術、加工技術を生かして、お客様のニーズが強い30μm以下の極細線について開発を進めています。

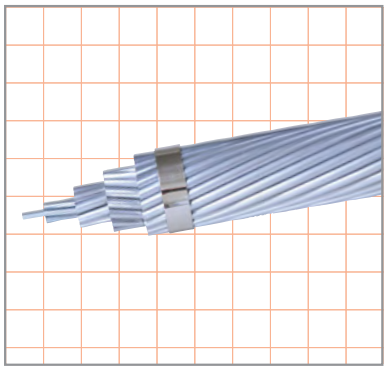
SWCC株式会社
電装・コンポーネンツ事業セグメント 線材巻線部 仙台線材課 課長　三好 佑介

Copyright (c) SWCC Corporation. All Rights Reserved.

こんな製品作ってます。

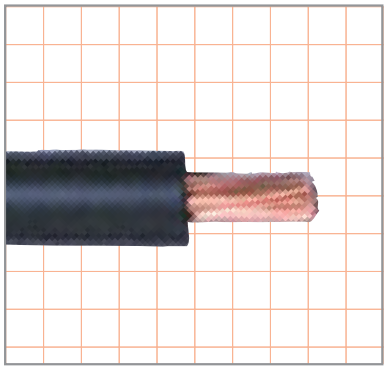
大容量送電に欠かせない
電力ケーブル

電力の供給に必要な架空送電線（鋼心アルミより線）、
銅配電線を製造しています。



＞鋼心アルミより線（ACSR）

送電線として一般的に使用されます。



＞高圧絶縁電線（OC）

6600Vで使用される架空高圧配電線です。

このような
場所で
使われて
います

送電線鉄塔

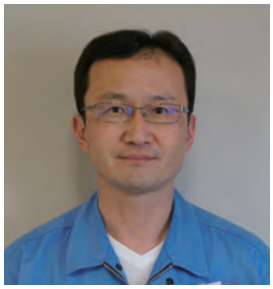
電力柱

発電所・変電所

＞担当者のひとこと

電力送電網を担う架空送電用電力ケーブルを製造しています。材質は軽量化のためアルミを使用しており、それらを束ねてケーブルを作っています。かたちにこだわり、敷設後に余計な音が出ない工夫など、生活環境に順応させた製品も作っています。皆さんの生活をより便利に快適にする役割を請け負っていきたいです。

SWCC株式会社
エネルギー・インフラ事業セグメント 電線電材部 仙台アルミ線課 課長　武藤 晃



Copyright (c) SWCC Corporation. All Rights Reserved.

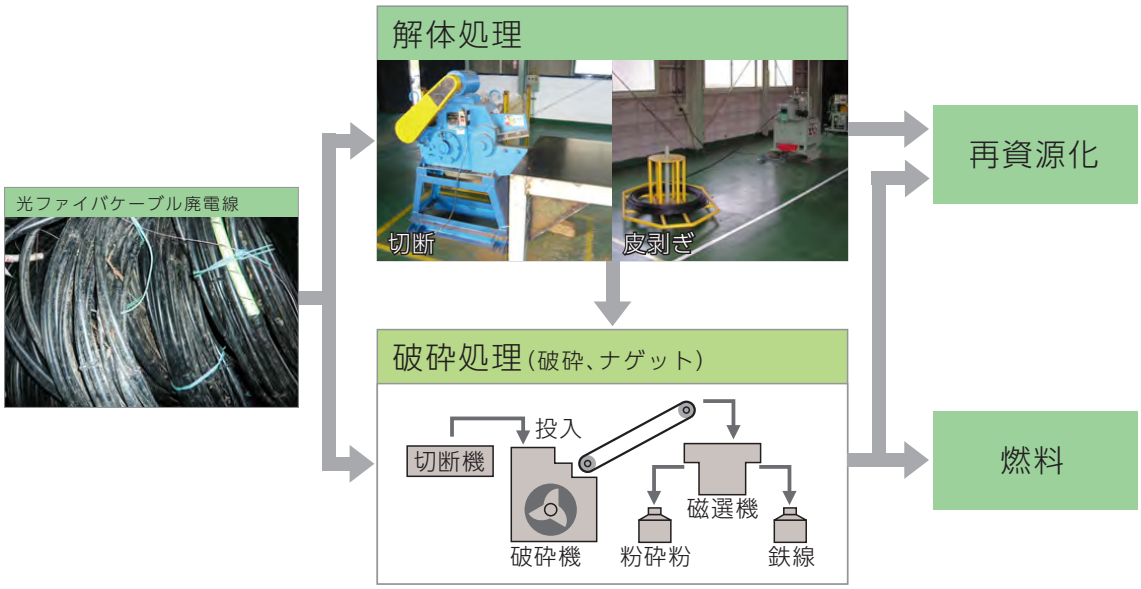
こんな製品作ってます。

地球環境にやさしい
リサイクル by 株式会社ロジス・ワークス

メタルケーブル・光ファイバケーブル廃電線の
マテリアルリサイクルに取り組み、
循環型社会の形成の推進に努めています。

＞光ファイバケーブル廃電線のマテリアルリサイクル

光ファイバケーブル廃電線専用の処理設備（解体処理設備と粉砕処理設備）で光ファイバケーブルを直接細かく粉砕し、比重の違いを利用してポリエチレン（PE）とガラスファイバ屑など分別するナゲット処理をします。また、磁石の力を利用して鉄を回収する装置や、形状の違いや風や水の力を利用して、ポリエチレンとガラスファイバ屑、介在屑とを効率的に分別する方法など、独自の処理方法の工夫、改善を加えることにより、部材すべてリサイクルを行っています。



このように
回収されて
います →

再資源化（PE回収）

再資源化（鉄回収）

燃料（ガラスファイバ屑・介在屑他）

＞担当者のひとこと

ロジス・ワークス仙台事業所 リサイクルＧは、主にＮＴＴメタルケーブル・光ファイバケーブルの解体、または粉砕することにより銅及び被覆材などを回収しています。お客様には、より質の良いものを提供出来るように選別・分別の精度を高め満足頂けるよう努力しています。また CO_2 削減や処理コスト削減を行い、環境汚染減少にも努めます。

株式会社ロジス・ワークス
仙台事業所長　千葉 隆

Copyright (c) SWCC Corporation. All Rights Reserved.

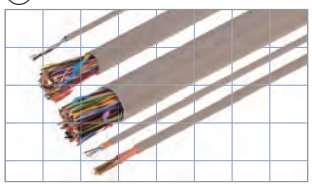
こんな製品作ってます。

いつでも、どこでも、なんでも

冨士電線株式会社 仙台工場

市内電話線から屋内電話、テレビジョン受信用同軸、弱電計装用ケーブル等
通信システム全般に対応したメタル通信ケーブルを製造しています。

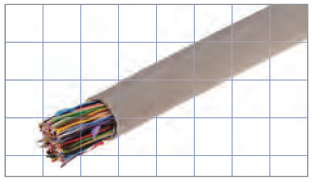
①



①ICTケーブル

電子ボタン電話は本体装置と電話機関でデータ回線によって各種信号の送受が通話中も行われている為、通信回線とデータ回線間の漏話特性をよくする必要があります。ICTケーブルは電子ボタン電話用のケーブルでカッド撚りでなく対撚を採用し、更に小さなピッチで撚合している為、漏話特性に優れています。

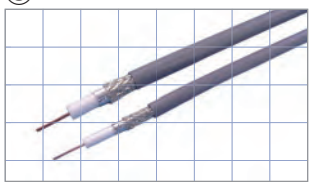
②



②通信用コウナイケーブル

導体上にポリエチレンで絶縁した線心を識別のために着色し、星形（カッド）により合わせ、これを集合した上にビニルシースを施したケーブルで、構内及び室内配線等に使用されております。

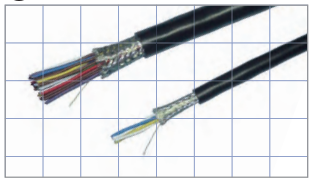
③



③同軸ケーブル

各家庭におけるテレビのアンテナから受信機まで映像と音声記号を伝える衛星放送テレビジョン受信用同軸ケーブルや、高周波機器間の接続、内部配線、給電線に使用される高周波に対応したC型同軸ケーブルなどを製造しています。

④



④計装用ケーブル

使用電圧60V以下の計測機器、ロボット、OA機器等の内部配線及び機器間に用いられるケーブルです。
対撚り構造により回線間の漏話特性が向上し、また編組遮へいにより外部からのノイズを低減するなど、信頼性の高いケーブルです。

このような
場所で
使われて
います →

建物内配線

テレビ受信用配線

＞担当者のひとこと

冨士電線仙台工場は2022年4月に設立されたグループ内で最も若い工場です。メタル通信ケーブルの中核工場として、多岐にわたる品種のケーブルを製造しています。各製品は幅広い用途でお使いだたいております。特に建物の中で使われることが多く、お目にかかる機会は少ないかも知れませんが、オフィス、工場、商業施設等、様々な環境でインフラを支えております。
新しい工場においても、「いつでも、どこでも、なんでも」を合い言葉に、高品質な製品をお届けするため努力を重ねております。

冨士電線株式会社
生産本部 仙台工場 製造課 課長　三沢 満

Copyright (c) SWCC Corporation. All Rights Reserved.

地球環境のためにしていること。

環境に対する取り組み

太陽光発電による環境負荷低減

仙台事業所内に、SWCCグループの太陽光発電関連製品を使用した、出力490kW、年間発電量約599千kWhの太陽光発電設備を設置し、2014年3月25日より東北電力株式会社への電力供給を開始しました。さらに、2016年4月に事業所内の遊休地を有効活用し出力500kW、年間発電量約652千kWhの太陽光発電設備を増設して電力供給を始めました。国が推進する自然エネルギーの普及・拡大や社会全体の環境負荷低減に貢献しています。

仙台事業所の太陽光発電設備

事業所周辺の環境整備

地域の美化奉仕活動として仙台事業所周辺及びJR船岡駅周辺の定期的な清掃活動を行っています。

生物多様性の保全

「花壇の整備及び花の植付け」、「工場内の草刈り」の緑化活動や事業所構内の池では、カルガモ親子の姿が見られることもあります。仙台事業所では生物多様性の保全を図るため、様々な活動に取り組んでいます。

工場見学

仙台事業所のことをもっと知っていただくため、工場見学を積極的に行っています。また、地元の中高生による職場体験（インターンシップ）についても、積極的に受入れを行っています。

Copyright (c) SWCC Corporation. All Rights Reserved.

地球環境のためにしていること。

環境自主行動計画（第７次環境自主行動計画）

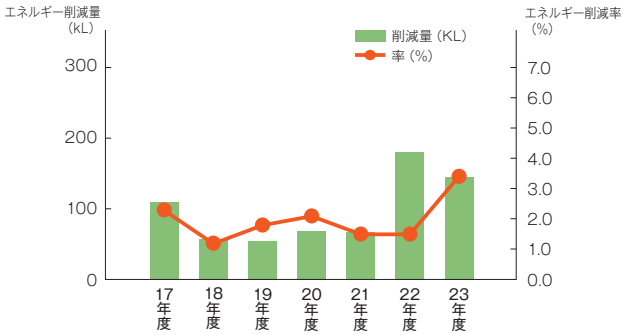
SWCCグループでは、2021年度から2025年度までの環境自主行動計画を定めて活動しています。
環境自主行動計画の到達目標または指標、および2023年度実績は下表に示す通りです。

環境目的	項目	到達目標または指標	2023年度実績
地球温暖化防止	省エネルギー（CO_2 削減）	2013年度実績を基準として、2025年度までに主要製造拠点のCO_2排出量（Scope1+Scope2）※1を45%削減する。	2013年度実績より38%削減
資源の有効活用	廃棄物の排出量削減	2018年度実績を基準として、2025年度までに全拠点の排出量を20%削減とする。	2018年度実績より19%削減
	資源循環の推進	2018年度実績を基準として、2025年度までに主要製造拠点より排出される廃棄物の最終処分量（埋立量）を80%削減する。	2018年度実績より69%削減
	プラスチック使用量の削減	『プラスチック使用ガイドライン』による。	被覆材・包装材の3R推進などの改善を実施
水資源の有効活用	水使用量の削減	2018年度実績を基準として、2025年度までに水使用量を25%※2削減する。	2018年度実績より28%削減
その他	化学物質の管理強化	『グリーン調達ガイドライン』による。	VOC※3使用量は2022年度実績比で11%削減
	環境貢献製品の拡大	『環境貢献製品ガイドライン』による。	環境貢献製品５件登録
	生物多様性への貢献	『生物多様性ガイドライン』による。	・改正ガイドラインを適用 ・地域共生、生態系保護の活動推進

※１ Scope1：事業者みずからによる温室効果ガスの直接排出　Scope2：他社から供給された電気、熱・上記の使用に伴う間接排出
※２ 当初目標値20%を達成したことにより目標値を引き上げた
※３ VOC：揮発性有機化合物（Volatile Organic Compounds）の略称

地球温暖化の防止

SWCCグループのボランタリープランで省エネ施策によるエネルギー削減の取り組みとして、仙台事業所では、「省エネ委員会」を設置し取り組んでいます。仙台事業所は、第一種エネルギー管理指定工場となっており、特に使用エネルギーのほとんどは電力が占めています。今後もSWCCグループのボランタリープランに基づきCO_2削減に取り組んでいきます。

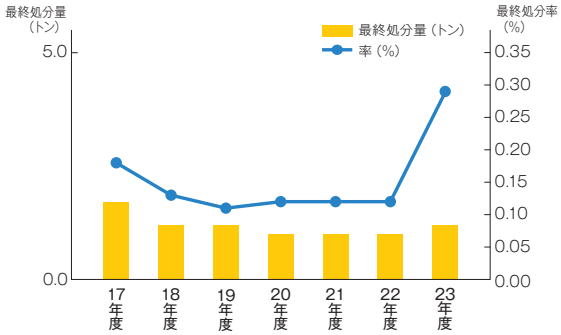


省エネ施策によるエネルギーの削減

※エネルギー削減率：省エネによるエネルギー削減量／工場で使用したエネルギー量

資源の有効活用

SWCCグループのゼロ・エミッションは事業活動に伴い発生する排出物に対し最終処分率を0.5%以下にすることとしております。仙台事業所としてもこの目標を達成するため、リサイクル・分別等の推進活動を行い最終処分目標値0.5%を継続して達成しております。今後もさらなる排出量の削減、分別の徹底を推進し、資源の有効活用に取り組んでいきます。



最終処分量と率

※最終処分率：最終処分量／総排出量

＞担当者のひとこと

仙台事業所は、2023年度環境保全重点テーマについて、目標を達成する事が出来ました。
SWCCグループの環境中長期目標である「地球温暖化防止」、「資源有効活用」、「水資源の有効活用」を念頭に、これからも環境負荷ゼロを目指し、環境保全重点テーマを中心に取り組んで行きます。

SWCC株式会社
通信・産業用デバイス事業セグメント 仙台事業所 環境管理責任者　大井 健宏

Copyright (c) SWCC Corporation. All Rights Reserved.